

会 議 録

1 会議名

平成 24 年度 第 3 回岱明地域協議会

2 開催日時

平成 24 年 11 月 26 日（月） 午後 1 時 30 分から

3 開催場所

岱明支所 2 階第 2 会議室

4 出席者

委 員：森尾由成、前田敦子、堀孝一、永井光子、田中安子、倉野尾誠至、
新野尾富美、檜原宏海、松本正廣、川元孝廣、小山玲子

事務局：原口岱明支所長、神谷総務振興課長、石田総務振興課課長補佐、
宇野総務振興課係長

主管課：小山地域振興課長、上野地域振興課審議員、入江地域振興課主任、
西田教育次長、板倉教育総務課長、堀教育総務課指導主事、
西原教育総務課課長補佐、外村教育総務課参事、吉川総務課長、
西山総務課審議員、土村総務課係長、

欠席者

委 員：木村勝、前田弘幸、坂上眞千子、村田明彦

5 会議内容

- (1) 地域公共交通計画について（報告）
- (2) 学校規模・配置適正化基本計画について（報告）
- (3) 消防団組織再編計画について（報告）
- (4) その他

6 議事の概略・協議結果

- (1) 地域公共交通計画について
地域振興課から地域公共交通計画について説明後、質疑応答
- (2) 学校規模・配置適正化基本計画について
教育総務課から学校規模・配置適正化基本計画について説明後、質疑応答
- (3) 消防団組織再編計画について
総務課から消防団組織再編計画について説明後、質疑応答
- (4) その他
防災訓練実施計画について質疑・応答
B&G のトイレの洋式化又は手すりの設置について要望
高道小学校の屋外トイレについて質疑・応答

7 会議資料

- (1) 会議次第
 - (2) 玉名市地域公共交通会議の資料
 - (3) 玉名市学校規模・配置適正化基本計画の資料
 - (4) 玉名市消防団組織再編計画について玉名市消防団分団再編検討委員会の検討結果
- 8 傍聴人の数
0人
- 9 非公開の理由
—
- 10 会議録の種類
要点記録
- 11 発言の内容
- (事務局)
【開会宣言】
- (会長)
【会長挨拶記載省略】
- (事務局)
ありがとうございました。
続きまして、岱明支所長原口がご挨拶します。
- (岱明支所長)
【記載省略】
- (事務局)
議事録署名人の方を森尾会長よりご指名お願いします。
- (会長)
本日の議事録署名人は、田中委員と倉野尾委員にお願いします。
- (事務局)
早速議題に入りたいと思います。議事進行につきましては会長にお願い致します。
- (会長)
それでは、議題に入ります。
地域公共交通計画について、地域振興課より説明をお願いします。
- (地域振興課)
皆さんこんにちは、地域振興課長の小山と申します。本日は、貴重なお時間をいただきありがとうございます。議題にありますように、地域公共交通計画についてご説明させていただきます。
近年、交通体系の充実や自家用車の普及により公共交通を利用される方が大変少なくなり、路線バスへの補助など公共交通の維持確保に係る財政負担が全国的にも大変増えております。
玉名市においても、市全体を把握し将来に向け市民の方が利用しやすく、財政的にも負担の少ない効率、効果的な公共交通のあり方の検討が必要と考え、今年度、公共交通

の総合的な計画を作成し玉名市地域公共交通会議の協議を経て、来年の10月に実施予定ということで、現在の状況を担当よりご説明いたします。

(地域振興課)

【地域公共交通計画事業について資料に沿って説明】

(会長)

何かご質問等ありませんか。

(委員)

バスの利用者は1~3人位で効率は悪いし、路線バスにこだわらなくてもデマンド型にしていきたいと思います。1~3人の利用者のためにバスを動かす事を市はどう考えているのですか。市民の多くも無駄と考えていると思うし、路線バスの運行はゆずれないのかお尋ねします。

(会長)

地域振興課の方いかがでしょうか。

(地域振興課)

バスの利用者が少ないのは、全ての地域協議会の方も言われております。

需要が小さければそれに合った、地域にふさわしい手段を考えて行きたいと思っております。

(委員)

将来、人口が減ることは大変な問題です。学校にしても少子化につながる問題が関わってくると思います。市として人口を増やす工作はどのように考えておられるのかお尋ねします。

(地域振興課)

確かに少子化対策に必要な部分もありますが、高齢化も問題になってくると思います。今回の調査にも揚げておりますとおり、高齢になり車の運転ができなくなった時に足となる公共交通が必要という要望があることも含め、今後、見直しをする中で必要な高齢化対策を地元のご意見もふまえ検討すべきと考えております。

(会長)

よろしいでしょうか。

(委員)

はい いいです。

(会長)

他にご意見はないでしょうか。

(委員)

23年度の6,200万円は市全体での負担ですか。熊本から荒尾までの路線で玉名を通過するだけの負担割合はどうか。また、長洲町で2台きんぎょタクシーを導入されて便利だと聞いています。病院や官公庁を經由して利用者も多く金額的にも利用しやすいと聞いています。

岱明を廻り市の中心部を經由するような経路で、どのくらいの予算が必要か教えてい

ただけませんか。

(地域振興課)

路線ごとの市の負担割合については、資料の P2 に掲載してあります。市全体では右下に掲載しております 61,781 千円です。

二つ目の長洲町のきんぎょタクシーについては、参考資料の形態の紹介の中の②の時間固定・路線非固定型で運行されています。運行時間は決まっているが送迎の場所がご要望に応じることになっています。今後デマンド導入にあたり、形態については 3 通りありますが、金額に非常にバラツキがあります。例えば、①の時間固定・路線固定と③の時間非固定・路線非固定とは、市の負担が約 1.5 倍位の差が出てくる可能性があります。ルートであったり実際の地域の運行距離によっても違いがでると思います。

現在ではどの形態で運行するか決めないと積算ができませんので、費用負担も見込みができておりません。意見交換会でご要望等を聞きながら、費用負担等など比較検討しながら決定していきたいと思います。

(委員)

利用者の少ない路線バスに市の負担が 6,200 万円はもったいないと思います。形態はどうなるかわかりませんが、住民もデマンド化の勉強会とかをしたらそうなるのではないですか。バス券を貰っても使わないし、それよりも近くまで送迎してもらったほうが良いと思います。形態の種類で 1.5 倍になると言われましたが、住民の為になるのであれば、違うところで予算を削れば良いと思います。

(委員)

みかんタクシーの助成金はいくらですか。

(地域振興課)

約 170 万円で運行しています。タクシーメーター運賃と利用料が 200 円ですが、その差額を補助している状態です。以前バス路線でしたが、500 万円以上の負担が変更した事で約 200 万円以上の負担軽減になっております。

(委員)

きんぎょタクシーの事が新聞に載っていますが、赤字補填額が 1,500 万円から 900 万円になり非常に効率的になったと聞いてびっくりしました。そういう事を考えられたら良いと思いました。

それともう 1 点、今、福祉バスがありますが、福祉センターを利用して大浜とか横島とか、福祉センターへ行く人だけが利用しているのですか。公共交通とは別という考え方ですが、途中で病院とか市役所に寄ってくれば、福祉センターに行かなくても利用できるような方策はないですか。

(地域振興課)

現在 決まった所、決まった時間を運行しています。長期的になると思いますが、市内全体のバス路線について見直しを考えております中で、主要施設を廻る巡回バスの導入を図る事も考えられる部分であります。当然福祉バスとのすみわけ部分や今後のスクールバスとかの問題も出てくると思います。そういった既存の交通機関と今回の公共

交通との兼ね合いを関係各課と調整を図りながら進めていきたいと考えております。

(会長)

他にご意見はありませんか。

(委員)

お話を聞いてデマンド化とは、高齢化社会には良い事だと思います。利便性の高い交通システムだがデメリットとして市の負担は大きくなると言われました。利用者も便利になったが、負担も大きくなるのではないですか。

(地域振興課)

運行形態はどうなるかわかりませんが、仮にデマンドを導入した場合、利用料金の一部を負担していただくようになります。1回あたり、200円～300円で残りを市が補填という形での導入になると思います。

まだ運行してもらおう事業者との調整が出来ていませんので、どの位の金額になるのかわかりませんが、他の導入状況と同程度になると考えております。

(委員)

デマンドという事で見直しを行うとの事ですが、バス会社との兼ね合いはどうなんですか。

(地域振興課)

廃止とカルートを変更する場合は、事業者との協議が必要です。こちらの計画を進めながら事業所との協議も進め、最終的な合意を図っていくようになっています。

(委員)

積極的に進めていくのですね。

(地域振興課)

最終の計画が決まれば、事業所にお願いすることになります。

(会長)

他にご意見、ご質問等ありませんか。

(委員)

予算とか全然あがっておりませんが、次の会議にできるのですか。

(地域振興課)

2月の段階で、最終的な計画案を決定しますので、その段階で各地域協議会にご説明をする予定です。

(会長)

他にありませんか。

(委員)

他の地域でデマンド導入をしているところはありませんか。

(地域振興課)

長洲町がきんぎょタクシーのデマンド運行をしておられます。玉名市では、みかんタクシーがデマンド運行をしております。他の市町村もデマンド導入するところが増えております。

(委員)

利用する場合は具体的にどのようにするのですか。

(地域振興課)

デマンドの運行形態は、先ほどご説明しましたが3種類ございます。

①番目の時間固定・路線固定とは、運行時間や運行ルートも決まっている場合です。時間帯とルートの何処で乗るか電話予約をしていただきます。

②番目の時間固定・路線非固定とは、運行時間が決まっていて、運行路線が決まっていないので、利用者は事前に登録をしていただき、近くまで迎えに行き希望先に送るといった形です。

③番目の時間非固定・路線非固定とは、時間も路線も決まっていないので予約で場所と時間を連絡してもらおうと、利用者の希望先まで送迎するという形です。

効率性では、時間固定や時間非固定は予約がないと運行しませんので、ロスの部分はありません。ただし、路線固定と路線非固定については、廻る場所等、効率良く運行する為に何人かの方の予約があれば同じ時間帯に合わせていただく場合もあるかもしれません。③番目の時間非固定・路線非固定については待機時間や運行距離等など効率性から言いますと金額も時間もかかる事になります。

(会長)

いいですか、それでは他にありませんか。ないようでしたら、この議題については終了したいと思います。

引き続き議題(2)の学校規模・配置適正化基本計画について、教育委員会より説明をお願いします。

(教育次長)

今日は、教育委員会から学校規模・配置適正化基本計画についてご報告をいたします。

この計画は、昨年の12月に「玉名市学校規模適正化審議会」で審議をし建議をいただいております。その後、教育委員会で素案を作成し、5月末より玉陵中学校区をかわきりに6中学校区単位で説明会を行ってまいりました。また、同時にパブリックコメントを実施して市民の方からご意見、ご要望をいただき、教育委員会で精査、検討し10月に基本計画が決定しました。

内容については、担当より説明をいたしますが、まず、玉陵中学校区から進めて行きたいと考えております。今後、通学路の問題、跡地の活用、建設に伴う財政の問題といろいろ検討する中で、地域協議会の皆様にご意見、ご協力を願う場合が多々あると思っておりますのでよろしく申し上げます。

とにかく、この少子高齢化の中で、玉名市の子供達の教育を第一に考えて進めて行きたいと思っております。それでは、担当からご説明いたします。

(教育総務課)

【玉名市学校規模・配置適正化計画について資料に沿って説明】

(会長)

今の説明について、何か質問や意見がありませんか。

何もなければ、私から 6 ページの学校再編の基本的な方向性として「小中一貫教育」の推進と計画の中に掲げてありますが、例えば玉陵中の再編計画はいつごろからとか、具体的なアイデアがあればお願いします。

(教育総務課)

小中一貫教育については、今年度中(3月)を目処に小中一貫教育の基本計画を策定してお知らせしたいと思っております。

玉名市が目指す小中一貫教育は義務教育の9年間で子供達を育てたいというのが1つです。もう1つは、中学校区で1つになり子供達を育てようという事です。この2つを基本に進めたいと考えております。校舎が離れていてもできるような形で進めていきたいと思っております。

現在でも各小学校間や小学校と中学校の連携はありますが、各中学校区単位で平成25年度中にもう一度見直しをして、できる事、できない事をはっきりさせ、平成26年度から施設が離れている状態でも義務教育の9年間で子供達をしっかりと育てようという考えで取り組んでいきたいと思っております。

ただ、小中一貫教育が効果を上げるのは、施設が一体となった時と考えておりまして、施設一体型となる一番最初が玉陵中学校区と考え今進めているところです。

(会長)

教育の運営性というのは大事なことですが、教育委員会の独立性も含めて、例えば市長が代わった時に、この教育方針が変わる事はないのですか。

現場や保護者、生徒にしても、教育委員会の基本方針がそうだとした場合、実際代わった時は、相当混乱があると思うのですが。

(教育次長)

行政の継続性がありますので、首長が代わった場合も教育委員会としては検討委員会からの建議という形で重く受けとめ、一貫してこの方針で行くという事で説明会等も開いております。

(会長)

他に質問、意見はありませんか。

(委員)

小中一貫教育とは、施設が一体となって本格始動と思うのですが、校長先生は小学校と中学校に二人いるのですか。

(教育総務課)

施設が離れていても先生方がお互いに授業を見合ったり、一緒に研修したりして、中学校区内の子供達の情報を交換しながら、小学校と中学校が協同で子供達を育てていくことも小中一貫と呼んでいますが、施設がひとつになったら更に効果が高まると考えております。

施設が離れている場合でしたら、小学校、中学校それぞれ校長先生は一人で、施設が一体となった場合は、ケースバイケースで、一人の場合もあり小学校に一人、中学校に一人の場合もあります。今後の研究のひとつになると思います。

(委員)

一貫というのは、校長の方針がまず第一だと思います。小学校の校長と中学校の校長の方針が変わっていたらバラバラになると思いますが。

(教育総務課)

そのとおりです。全国でも小中一貫教育が浸透しつつあるのですがさまざまです。校長は小中学校で一人、教頭を小学校、中学校に一人という学校もありますし、小学校、中学校それぞれで一人の校長先生という学校もあります。教育委員会としてもそのあたりの研究をしているところです。

(委員)

小中一貫教育は学校規模で順次されるとの事ですが、施設一体型を念頭においてされるのですか。

(教育総務課)

今、玉陵中学校区の説明会を行っております。説明会の中でも小学校は何処に造るのか話がでています。教育委員会でも場所については再編対象の時期にきたら、説明会を開催して「新しい学校づくり委員会」という地域の方々に集まって頂き、その組織の中で決定したいと考えています。小中一貫教育、一小一中と考えれば、中学校と小学校の施設が一緒になるのが一番良いと思っておりますが、既存の建物を利用する事も含めみんなで検討していきたいと考えております。

(委員)

岱明は10年先のことですが、教育委員会の基本的な考え方とは、中学校と小学校を一箇所にするという強い意思はあるのですか。

(会長)

担当課からお願いします。

(教育総務課)

岱明中学校の計画をたてる段階でいろいろ検討はしております。岱明中学校は建物が古い方に入っており、現状では土地は現在の所で建替えを考えております。岱明地区の小学校は岱明中の近くにとっておりますが、明言はしていませんが検討はしております。

(委員)

玉陵はどうなのですか。

(教育総務課)

玉陵については三ツ川小学校が比較的新しい施設になります。玉陵中学校が校区のほぼ中心にあります。そういうことから説明会に来られた方々の意見は、中学校を中心とした話をされます。教育委員会もそういう考えはもっていますが、まだ皆さんと話をしてみたいとしています。

(委員)

住民の感触としては、そういう方向に流れているという事ですね。わかりました。

(会長)

他に何かありますか。

(委員)

玉名市ではないですが、菊水中学校で実働していますよね。グラウンドの近くに新しく用地を購入し小中一貫教育の準備段階になっているようですが、住民の反対意見も多々あるそうです。やり方を非常に検討しなければいけないと思います。

もう 1 つ、以前も少しはありました小学校の先生が中学校の参観、また中学校の先生が小学校の参観、また中学校の先生が小学生に教えたり、そういう一貫教育なのか、施設を一緒にして一貫教育するのかお尋ねします。

(会長)

今の質問に対してお願いします。

(教育総務課)

三加和と菊水は、今両方とも校舎建設が進んでおります。三加和は 26 年度の 4 月に開校する予定です。和水については、小中一貫教育とか学校の再編という話でなく、問題は、番城浦（和水町総合グラウンド）を潰して造る事に対して論争が起こっていると聞いています。小中一貫教育学校再編の計画は進んでおり、建てる場所で問題が起こっていると聞いております。今の問題も含めて、教育委員会では方針は持っているが地域の方々の組織の中で話をして決めたいと考えております。

(教育総務課)

小中一貫についてですが、連携を深めていき最終的には校舎一体型の小中一貫教育を目指しております。中学校の現場の話を見ると小学校それぞれ学習スタイル、生活の決まりや学習の決まりも違う子供達が、中学校に入ってきて、それを合わせるのに時間がかかる。小学校の先生からいうと、小学校 6 年までにできていたのが、中学校になってから逆に授業の質が落ちた等、まだまだ小学校と中学校の連携が不十分なところがありますので、そこをしっかりと固めていく小中一貫、つまり義務教育の 9 年間で子供たちを育てる意識を高めたいと考えております。

(会長)

他に意見や質問はありませんか。

(委員)

学校編成を進める中で早い所や遅い所の差がありますが、遅い所の保護者に不安が残らないように情報は発して欲しいと思います。

(会長)

他にご意見ありますか。

(委員)

文科省で 6・3・3 制を廃止すると言っていますが、そういう流れの中でどのようになるのか、小学校と中学校の校長先生が 2 人いるのか、そういう学校で小学校は入学し、中学校は入学しないのか、そういう初歩的な事がわかりませんのでお尋ねします。

(教育総務課)

国の方も 6・3・3 制の廃止とか、小中一貫教育の制度をつくりたいとか言っておりますが、今の時点では法律上は小学校・中学校の形は残りますので、小、中学校それぞれ

で入学式や卒業式は行う 6・3 制は崩さない形での小中一貫を考えております。

(委員)

6・3 制を崩さないでいくのですね。玉陵などは、岱明よりも問題が沢山あると思いますが、一番良い方法を取られると思います。岱明の場合はだいたい集まっているのでゆっくり考えていいと思いますが、文科省の方針でいくしかないと思います。

(会長)

他になにかありませんか。

(委員)

考え方はよくわかったのですが、岱明の場合は 10 年後という事ですね。その中で施設が 1 つにならなくてもできると思います。

岱明の場合それぞれの小学校で、一貫教育になったときの事を 3 年～5 年前からもう少し考えてやっていくほうが良いのではないかと思うのですが。

(教育総務課)

義務教育の 9 年間で育てていく小中一貫に向けた取り組みは、26 年度からでも市内全域の中学校区単位で、できる所からそれぞれ創意工夫しながらやっていきたいと考えております。

(委員)

岱明の場合は同時に 4 小学校一緒にしなくても、とりあえず中学校に近い高道小学校を岱明小学校にして、お互い連携していくという方法でもいいのですか

(教育総務課)

今のところ、岱明中学校区よりも他の校区の方が少ない所がありまして、一斉にできる事ではないので、優先順位を決めております。年度毎の児童数推移も考えながら、1・2 年生までは 1 クラス 35 人、3 年生から中学 3 年生までは 40 人で 1 学年 2～3 学級という数字を当てはめながら、その中で決めた順番で中学校区で 1 つという方針は、今のところ変えることはありません。

基本的に中学校区のエリアの中で同時に一緒にやっていくのが、教育委員会の方針です。極端に児童数が減った場合には、考えざるを得ないことも出てくるとは思いますが、今のところでは考えておりません。

(委員)

段階的にはいいのではないですか、最終的には一緒にするという事で。

(教育総務課)

最終的には 1 学年に 2 学級か 3 学級の学校を作りたいが、一緒になっても 1 学年 1 学級しかつけれないとあれば、急いで一緒にする目的が薄い部分もあります。

(委員)

部分的にもできるのではないかとお聞きただけです。

(会長)

他に何かありませんか。ないようでしたら、この議題につきましては終わりたいと思います。

もう1つ議題がありますので、ここで5分間休憩をいれたいと思います。

(会長)

それでは、皆さんお揃いですので、議題の第(3)に移りたいと思います。消防団組織再編計画について総務課の説明をお願いします。

(総務課)

みなさんこんにちは、総務課長の吉川と申します。それでは、座って説明させていただきます。

【消防団組織再編計画について資料に沿って説明】

(会長)

ご意見等ありましたらお願いします。

(委員)

トランペット分団というのが分かりません。

(総務課)

今、天水地区で組織していて、例えば出初式などの式典や大会等にトランペットや太鼓の演奏をする部隊です。

(委員)

トランペットという楽器の名前ですね。

(総務課)

式典に華を添える感じですね。

(委員)

名称をトランペット分団という楽団ですね。

(会長)

他にありませんか。

(委員)

組織の再編は中学校区でされたそうですが、10分団中の第1分団に滑石校区が入っています。今学校再編も計画されていますが、滑石校区は区割り変更の検討地域になっている話は出ませんでしたか。

(総務課)

消防団の編成は基本的に小学校区とする予定でした。玉名地区校区については、小学校区できておりましたので、再編する必要があるのかという意見はありました。

将来的に人口が減ることが予想されますので、それを見据えて小学校区単位を合わせて3分団する計画となりました。

(委員)

学校再編計画で、滑石小学校は校区の変更を検討する所に入っています。それと同時に消防団の再編の話がありましたので、そこはどうなるのか意見はでなかったのですか。

(総務課)

消防団再編が、学校再編よりも若干先行し進めている間で、滑石地区が学校再編で今後検討しないといけない結果がでております。地区の消防団でも、その話がでているの

は確かですが、旧玉名市地区の消防団の関わりが今回の三つの地区の消防団の活動、地縁の部分でベースとなる状況が根底にあり、その単位でまとまる事が、地区の消防団員の意見として出たという事でございます。

(委員)

岱明の場合、各地区に消防格納庫を造っています。小学校区の4分団にわけてありますがそれは残るのですか。設備投資をしているし、区費から活動費として補助を出しています。地域の消防団はどうなっていくのかご説明をお願いします。

(総務課)

再編の基本は、地区の積載車や詰所の統合はするが、減らすことは示しておりません。例えば岱明は行政区で活動単位は1つ又はいくつかの区が集まって活動していますので、その方向性は現状のままとお話をしております。

今回は地区の消防団員も減って来ていて、ポンプ積載車のメンテナンスもなかなかできない地区も出ています。維持するには経費も掛かりますので、必要とあれば部の統合、詰所の統合も検討されて結構です。と提案しておりました結果、今回の再編で一箇所旧玉名市地区で3つの詰所、積載車を持っていた所が、2つに統合し1つ減らす所が出ました。

横島、天水については、そこまで調整できた地区はありませんが、消防団としては、隣と一緒に統合した方が良いが地元と話し合いも必要ですし、そこまではまとまっておりません。

(委員)

浜田の場合は、消防団に支給する予算を計上しておりますが、地区によっては、夜警の費用を戸別に集める所もあります。

3~4年前の浜田ではOBが現場到着が早く消防団員は2名でした。それだけ昼間に出動できる団員が少なくなっていることに対する対策もたててもらいたいと思います。

(委員)

うちの区でも15人のうち、実際3~4名しか出動できません。名前だけの団員が半分以上です。そういう実態はどのようにみられるのですか。もう1つは、消防小屋が各行政区にあります経費の無駄だと思います。もう少し縮小していくべきです。毎回3~4人で定期的にやっていますが、車検の費用もでてきます。検討委員会には敬意を表しますが、人がいなくて困っています。重要な時はどうなんだろうと心配はあります。それで睦合は睦合分団でもう少しまとまれば、もっといいのではと思ったりします。そういう事を含め検討していただければ私たちも最大にバックアップしていけるかと思えます。

市民の防災も含めてプロの消防、市民の救急という様な事をあわせて市として研究し指導してもらいたいです。実際なかなか難しい面もありますので一体となって出来ればしやすいのではないかという気がします。

(会長)

今の意見について担当として、将来的な思いがあったらお願いします。

(総務課)

東日本大震災を経験し地域の消防力は低下させてはいけなないと考えます。全国的にも100万人いた消防団員数も現在では90万人を割り込み、全国的な問題でもあります。

国の方針も団員数を減らすなという事もございます。今回、岱明地区については、団員定数とか分団の枠組みとかは変更はありませんが、玉名市全体としては、地区の分団の規模を揃えたり統合することにより、団員確保がしやすくなると思います。それが第一段の策で、もうひとつは支援団員制度です。これは定数割れの地区に対して、不足団員数を補充する制度です。

今回そういった策も講じ、消防団の幹部クラスの組織をスリム化して活動しやすい体系をとる。というのが今回の再編の柱となっております。

そういった方策をとった中で、人口減少に伴い団員確保できない実態であるとか今後出てくる地区との関係性を考慮し次のステップで検討していくことになります。

(会長)

他に意見はありませんか。

(委員)

市の予算の中で、消防関連の人件費とか設備費はどのくらいですか。それと、先ほど報酬で一般団員の場合が18,000円とありましたが、ちなみに団長とか副団長の金額は違うのですか。合わせてお願いします。

(総務課)

報酬関係は定数が1,712名ですが現在150人の定数割れとなっております。定数予算上ですが4,000万円程です。階級別で団員が年間18,000円、団長が136,000円で間に副団長、分団長といくつかありますが、階級に応じた金額になっております。設備関係では、現在地元に積載車とかポンプを配置しておりますが、20年を1サイクルとして配備しております。ポンプ付積載車が1台500万円弱位の金額になります。ポンプ単体ですと160万円位になります。

(会長)

他にありませんか。

(委員)

定員が150人割れとの事ですが、団員層はどうか、市役所の職員が率先して団員になっているか。30歳代の市役所職員で消防団員に入っているのはどのくらいですか。それと、積極的に消防団に加入するような指導があるのかお尋ねします。

(委員)

私たちが消防団員の時は、地区の班長、部長が勧誘しておりました。以前の事になりますが、岱明の場合は20～30歳までは消防団員でしたが、町職員はあまり入っておりませんでした。

(総務課)

団員勧誘の一番大きな柱は、地区の消防団員の活動によります。市職員については、合併前は旧岱明町職員で構成している機動分団がありましたが現在は無くなっておりま

す。

職員で消防団に入っている数は調査しておりませんが、地区の事情により市職員も消防団員に入っている状況です。

(会長)

他に何かありませんか。

(委員)

先ほど、夜警の話がありましたが、区から補助がある所や、戸別に千円～二千円を徴収する等いろいろと思いますが、各分団にお尋ねになったことがありますか。それぞれの自治会のやり方はあるかと思いますが、そういった調査や指導等をされたことがあるのかお尋ねします。

(総務課)

そういった調査はしておりません。消防団と地域のつながりはそこそこで違うこともありますし、地域の事情の中でのことで、行政としては関与しておりません。

(委員)

その件は区長会に聞けばすぐわかります。区のことですから、市では把握してないと思います。

(会長)

他に何かありますか。

(委員)

聞いていて本当にありがたいと思いました。今特別に何も無いので必要性はあまり感じませんが、何かあった時一番に駆けつけてくださる安心感はお金では買えないし、支援団員制度など、一人でも二人でもすぐに駆けつけられる方がいると安心して暮らせますので頑張ってほしいと思いました。

(会長)

事務局でも、いろいろな会合の席で団員の士気の高揚という意味で、そういう人達の支援がある事を伝えていただきたいと思います。他に何かありませんか。ないようでしたら、この議題につきましては、これで終わりたいと思います。

その他というところで何かありますか。

(委員)

先日防災訓練がありましたね。各小学校、中学校、公民館には海拔どのくらいとか書いてあるのですか。

(総務課)

その標示はしておりません。

(委員)

それは、どうするのですか。

(総務課)

今年度予算化しておりまして、今年度中に各避難場所には標示したいと思っております。

(委員)

例えば、浜田の場合は公民館が農業用水路の下に建っております。津波が来たら浸水するのではと話を聞いております。標示をするということですね。

(総務課)

今年度中にします。

(総務課)

津波に関しては、今、熊本県の津波被害想定作業を行っております。大きな地震が発生した時の有明海の津波の高さや浸水エリアの想定が示される予定です。

鍋、高道の地区だと海拔的にはほとんどない地区になります。1つの目安として、市の施設で避難所になっている小学校の体育館などに海拔の高さの標示する予定にしております。

(委員)

昨日、防災訓練がありましたね。自治会を中心に話をされていたかと思うのですが、いつ訓練をするのが決定され、どういったところに話をされたのかお尋ねします。と言うのが、15日号の広報のチラシでわかりましたが、実施されるまで知らない方が多かったものですから。

もちろん、災害事態はいつ起こるかわかりませんので、知らせずに実施するのもひとつのやり方とは思いますが、やはり皆さんに日頃からの意識付けを考えると、多くの方に参加してもらう為に、早めに知らせた方が良かった気がいたします。

何時ごろ決まって、どういうところにお知らせされているのかお尋ねします。

(総務課)

ある程度の計画を9月頃たてまして、まず、地元の区長会長に話をし、区長会協議会に説明をしました。その後、消防団、有明消防署に相談しました。

先ほど言われたとおり周知については、11月15日号の広報掲載とチラシのみでした。参加者は高道校区で150名程、鍋校区で165名ほどでした。翌年、翌々年の防災訓練にむけての反省材料にしていきたいと考えております。

(会長)

その他に移っておりますが、消防関係の事務局は退席されてもいいですか。

【総務課退席】

(会長)

その他で何かありますか。

(委員)

仕事柄、公民館を廻る仕事をしています。高齢者の方とお会いする機会が多い中でB&Gのお手洗いのお話をよく聞きます。

B&Gで卓球や健康大学、ビーチバレーに多く参加されていますが、ひざが痛いトイレでしゃがむのが一番大変で、洋式のトイレがあれば一番いいのですが、和式が三つありが手すりがないので苦労されています。できれば、洋式トイレが欲しいのですが、できなければ手すりだけでも付けて欲しいとの要望があります。

(会長)

支所長として今の意見に対してお願いします。

(岱明支所長)

教育委員会所管ですので、お伝えし次回に報告するという事でよろしいでしょうか。

(委員)

はい、お願いします。

(委員)

高道小学校が屋外トイレがありません。屋外行事の時は体育館まで行かないといけません。その事は、支所長どう考えておられますか。

(岱明支所長)

平成 25・26・27 年度の実施計画の会議の中で教育委員会から、屋外トイレがないのは高道小学校だけで、確か 25 年度に教育委員会では予算要求するように考えてあるようです。

(会長)

他に何かありませんか。無いようでしたら議題については、これで閉めてよろしいでしょうか。それでは、事務局からお願いします。

(事務局)

それでは、これで平成 24 年度第 3 回岱明地域協議会を閉会します。

12 問い合わせ先

玉名市岱明支所総務振興課 TEL 0968-57-1111 (内戦 120・115)